

# 茶臼塚古墳(大宮市)

ちやうすづか

正面の高まりが茶臼塚古墳/南側から見ている



円墳/6世紀～7世紀の築造とされる



前方後円墳の可能性もあるという





さまざまな看板が立っていた



側ヶ谷戸(そばがやと)古墳群の主墳と考えられる前方後円墳「井刈古墳」がこの西側にあったが、現在は消滅しているという



大宮市指定文化財史跡

側ヶ谷戸古墳群 茶臼塚古墳

所在地 大宮市三橋四丁目五〇二番地  
指定 昭和三十二年三月六日

荒川流域の台地上には、数多くの古墳が築かれており、それぞれ群としてまとまって分布しています。

荒川の支流の一つである鴨川に面したここ三橋四丁目の台地上や自然堤防上にも、いくつかの古墳がまとまっており、側ヶ谷戸古墳群と呼んでいます。この古墳群は五〇〇年代から六〇〇年代にかけて築かれたものです。

現在、形の残っている古墳は稲荷塚・上之稲荷・台耕地稲荷塚とこの茶臼塚の四古墳ですが、石室が残されている山王山古墳や、墳丘が失われてしまった井刈・中郷古墳など、当初は数多くの古墳が築かれていました。

茶臼塚古墳は墳丘径約三〇m、墳丘高約三mの形のよい円墳で、六〇〇年代に築かれたものと思われます。

平成八年三月

大宮市教育委員会

ゴミを捨てないで下さい

古墳を大切にしましょう



台耕地稲荷塚古墳まで600m、稲荷塚古墳まで380mなどとの表示がある







## そばがいと 旧側海討村内の石橋の石材

この石材は、江戸時代に側海討村（現在の三橋4丁目）内の水路に掛けられていた石橋（図①）の一部で、上の石材には、明和6年（1769）に、同村カンのんこう観音講の15人によりめいしん寄進されたことが記されており、下の石材には、文化9年（1812）のきねんめい紀年銘が記されています。

この水路と石橋は、昭和4年（1929）から昭和8年（1933）にかけて行われた三橋村の耕地整理の際に廃止されましたが、石材は新水路の石橋②の場所に移設し、昭和40年頃に改修されるまで再利用されていました。

江戸時代から地域の歴史を見守ってきた貴重な資料として、地元の皆様の協力を得て、ここに保存するものです。

生出塚埴輪窯跡(鴻巣市)産とみられる埴輪が出土しているという





北東側から見る/左手の建物は鴨川ポンプ場



北側から見る



南東側から見る



南の方角にある藤橋から茶臼塚古墳を見る





中央遠方が茶臼塚古墳/この手前のエリアに「井刈古墳」があったのであろうか



アップで見る



## 参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/saitama\\_tyausu/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/saitama_tyausu/)

[http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/12\\_omya/soba.html](http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/12_omya/soba.html)

<http://www.city.saitama.jp/www/contents/1268894698264/index.html>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/omiya/chausu.htm>

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s1/omikofu.htm>

<http://homepage3.nifty.com/kofun/kyuiruma/sobagayato/chausu/index.html>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/f2b417fea50c5eaa05a4a526204deb1c>

